

算数オンライン塾 1月18日の問題 解説

まずAが12の倍数であり、1の位が0でない数だと成立します。

12、24、36、48、72、84、96の7つ。

次にAが1の位は0でなく、6の倍数であって12の倍数でない場合は、18、42、54、66、78で、このうち10の位が偶数であればいいので、42と66の2つ。

次にAが1の位の数でなく、3の倍数であって6の倍数でなく、ひっくりかえしたときに4の倍数になる場合は、

15、21、27、33、39、45、51、57、63、69、75、81、87、93、99のうちで

21、27、63、69の4つ

Aが3の倍数でないと、ひっくりかえしたときにも3の倍数ではないので、これ以外は存在しません。

したがって合計は $7+2+4=13$ 通り

(答え) 13個